

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード:120201

看護学概論 Introduction to Nursing

担当教員	石川 倫子、寺井梨恵子										
実務経験	すべての担当者は、医療機関での実務経験を有し、それに基づき授業を行う。										
開講年次	1年次前期	単位数	2		授業形態	講義					
必修・選択	必修	時間数	30								
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	◎	(3)		(4)		(5)	○	(6)
Keywords	看護、人間、健康、環境(生活)、看護倫理、多職種連携										
学習目的・目標	【学修目的】 看護学の発展の歴史の変遷を踏まえて、看護学の主要概念である人間・健康・生活(環境)・看護活動について、広い視野から学び、現代における看護の機能や役割、および課題を理解する。 【学修目標】 1. 看護の対象となる人々の健康と病気について、自らの考えを説明できる 2. 看護活動の専門性を「日常生活行動の支援」「診療の補助」から説明できる 3. 看護における倫理と価値について、説明できる。 4. 事例を通して、日常倫理の重要性を認識できる 5. 看護を提供するプロセスを説明できる 6. チーム医療における看護師の役割を述べるができる 7. 自らの看護観を説明できる										
授業計画・内容											
回	内容										
1	ガイダンス 看護学の全体像										
2	看護の対象となる人々の健康と病気(1) 人間とは・健康とは										
3	看護の対象となる人々の健康と病気(2) 病気とは・生活(環境)とは										
4	ライフサイクルと健康・ライフサイクルと発達課題 人間の一生に生じる病気										
5	看護とは何かー看護活動の専門性(1) 「日常生活行動の支援」にみる看護の専門性										
6	看護とは何かー看護活動の専門性(2) 「診療の補助」にみる看護の専門性										
7	看護実践のための理論的根拠(1)										
8	看護実践のための理論的根拠(2)										
9	看護における倫理と価値ー倫理原則・日常倫理ー										
10	看護を提供するプロセス(1)										
11	看護を提供するプロセス(2)										
12	看護活動を展開するための法的根拠										
13	看護・看護学教育の歴史の変遷と展望										
14	保健・医療・福祉システムーチーム医療における看護の役割ー										
15	看護とは何かー看護活動の専門性(3) グループディスカッション										
教科書	茂野香おる他著:系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論, 医学書院 Florence Nightingale:看護覚え書 改訂第七版, 現代社 Virginia Henderson:看護の基本となるもの(再新装版), 日本看護協会出版会										
参考図書等	日本看護協会監修:新版 看護師の責務, 日本看護協会出版会										
評価方法・基準	事前課題(40%)、筆記試験(40%)、最終課題(20%)で評価する。										
関連科目	人間科学領域および看護専門領域の諸科目										
教員から学生へのメッセージ	自分や家族をはじめ地域の人々の健康を創り出す看護学の学習の第一歩、自己の問いを育みつつしっかり踏み出してほしいと願っています。										